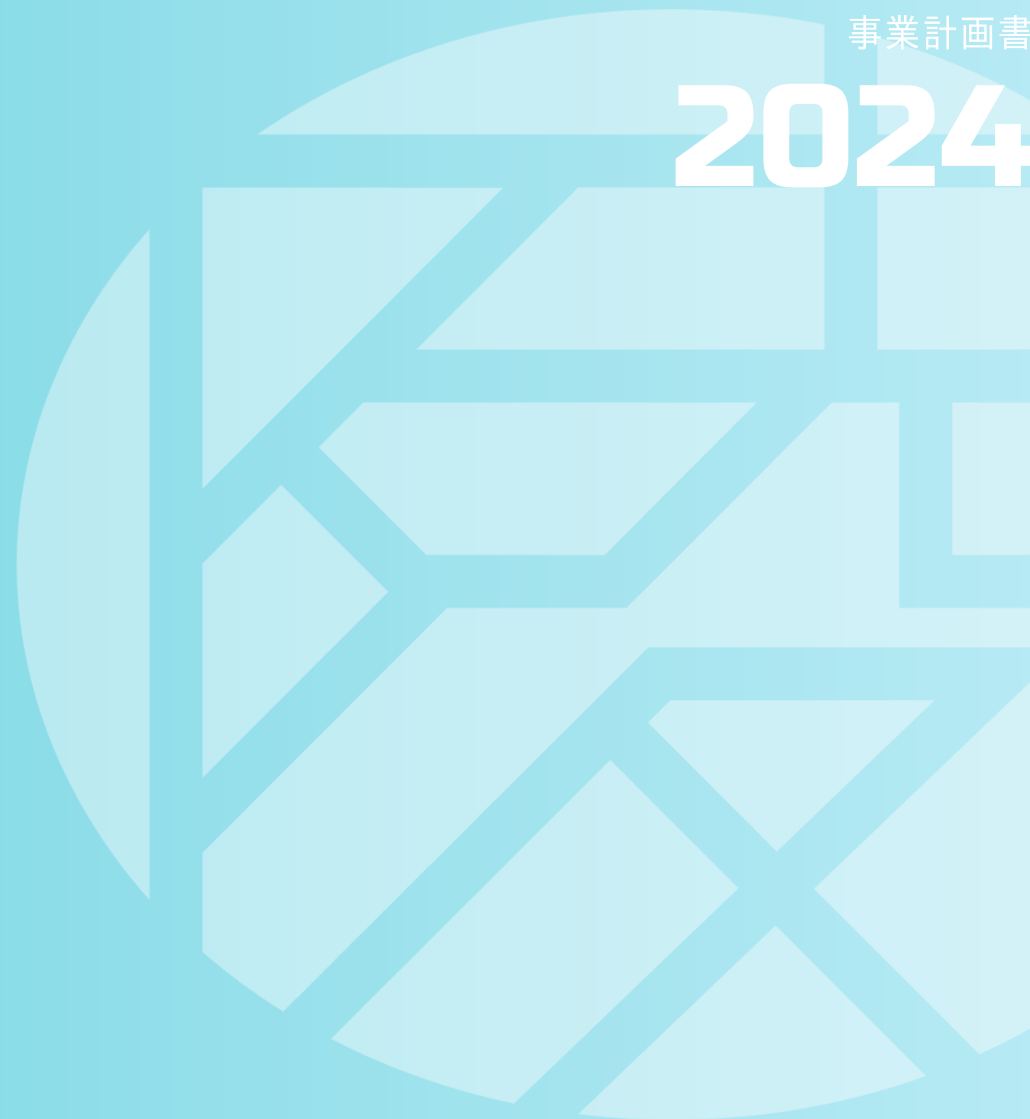


MISASAGIKAI

PLANNING REPORTS

事業計画書

2024



Part 1 Introduction P.4

経営安定力の向上

Part 2 Our Groupe P.6

藤井寺特別養護老人ホーム・・・P.7

生活支援部 介護課

生活支援部 看護課

生活支援部 栄養課

藤井寺デイサービスセンター

ヘルパーステーションみささぎ

高齢者ケアセンターつどうホール・・・P.18

生活支援部 介護課

生活支援部 看護課

生活支援部 栄養課

デイサービスセンターつどうホール

ケアプランセンターみささぎ

高齢者ケアセンター大仙もずの音・・・P.28

生活支援部 介護課

生活支援部 看護課

生活支援部 栄養課

大仙もずの音デイサービスセンター

大仙もずの音ケアプランセンター

北第1地域包括支援センター・・・P.39

1 on 1保育園・・・・・・・・・・P.42

Part 3 Social Relation P.46

Part 4 Skill-UP Program P.56

Part 5 Career Path P.66

Part 6 NEW CHEALLENGES P.73

居住支援法人活動

小学校向け福祉授業 実施強化

産後ヘルパー事業への参画

eNPSの導入

定期人事面談実施（正規職員対象）

年間休日の増加

週休3日制 トライアル実施

キヌアミ・ミスト浴の導入



01

Introduction

2024年度は介護報酬改定の年です。報道では報酬が増額されたということばかり流れています。しかし実際は物価、エネルギー価格の高騰分には届いておらず、訪問介護に至っては基本報酬がマイナス改定となりました。国から介護事業がないがしろにされていることに憤りを禁じ得ませんでした。

少子高齢化、人口減少、労働力不足、インフレなど法人経営において乗り越えなければならぬ幾つもの壁が立ちはだかっています。また孤独孤立が進展している地域コミュニティの中でみささぎ会のソーシャルリレーション事業の役割が増していることを実感しています。認知症予防普及啓発、こども食堂、学校での福祉教育、産後ヘルパー、地域防災訓練、生活困難者支援（総合生活相談、無料低額宿泊事業、居住支援事業）なども途切れさせるわけにはいきません。

近年は、ITや介護機器などテクノロジーを活用した生産性向上という言葉が社会福祉業界でも頻繁に使用されています。生産性向上とはモノづくりの場面で本領発揮されるもので、労働集約型産業であり対人援助サービスを提供する福祉業界では一歩間違えるとサービス品質低下に直結してしまいます。

私たちが行わなければならないことは社会インフラである介護、保育、障害事業や地域公益事業を安定的に提供できる組織作りであり、生産性向上は経営を安定させるための数ある方法のひとつでしかないのです。この点で勘違いをしないようにするために、私は生産性という言葉を使用せず「経営安定力」という言葉に置き換えています。私たちのサービスの原点は人です。人を大事にするために更なるサービス品質向上、職場環境向上を重点課題として取り組み、経営安定力の高い組織作りに邁進します。



経営安定力の向上

理事長 奥田 起視

02

Our Groupe



藤井寺 特別養護老人ホーム

藤井寺
特別養護老人ホーム

生活支援部介護課
看護課
栄養課

藤井寺
デイサービスセンター

ヘルパーステーション
みささぎ



藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 介護課

【サービス目標】

- 利用者の立場に立ったサービスの提供。
- サービスの内容をより充実させる。

【実績目標】 定員数：特養70名 SS：10名

- 年間稼働率

 **100%**

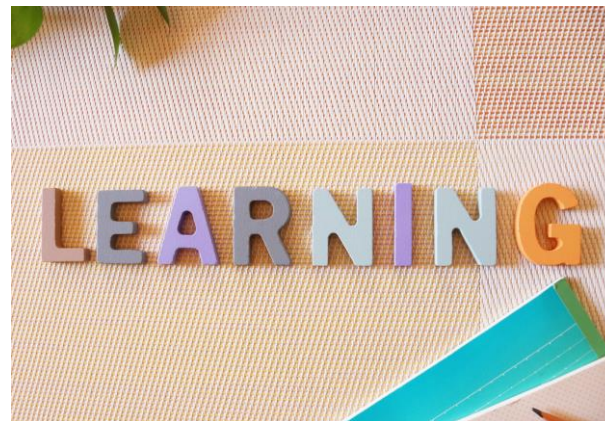
【具体的な取り組み】

■ 利用者が楽しめる機会を増やす アクティビティ・イベントの充実

- 外出の機会を増やす。
- 新しいアクティビティを考え、実施する。
- 各フロアのイベントを企画し、開催する。
- 『動画で楽しみが伝わる』よう、リモートを活用し家族に発信していく。

■ 職員が学習する機会を増やす

- 職員の学ぶ機会を作ることで、知識・技術が向上し、利用者に対するサービスの質を向上させる。（認知症・接遇等）
- 申し送りや隙間時間等に短時間でも学びの機会を提供する。
- LINEWORKSのアンケート機能を活用し、職員の学びの程度や学びたい項目の把握を行う。
- 介護機器展等を見学することで、新たな介護の方法について模索する。



藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 介護課

■ 個々のニーズに合わせた介護の実施

- 利用者一人ひとりについて、認知機能の維持やQOL向上に向けた短時間でも可能なケアを考え、ケアプランに位置づけて実施していく。
- 一人ひとりが安全・快適に入浴できるよう入浴方法の見直しを行う。（ミスト浴の導入）
- 趣味に合った衣類を本人が選択し着用できるよう支援する。

■ 介護負担の軽減を図る

- 一部の職員に過剰な負荷がかかっていないか、常に余裕のないスケジュールになっていないか等、業務内容の見直しを行う。
- 夜勤負担軽減対策を検討する。

【実習】

■ 目標

- 実習生から優秀な人材を就職に結びつける
 - 受入れ目標人数 5人
 - 入職目標人数 1人

■ 取り組み

- 実習生担当職員だけでなく、実習生に対し他職員も関わりを積極的に持ち、人柄や意向を把握する。

藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 介護課

■ 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養全体 行事	花見	菖蒲湯	運動会	七夕 祭り	夕涼み会	敬老 祝賀会	遠足	遠足	餅つき	新年 祝賀会	節分	ひな 祭り
		遠足 おでかけ	もんじゅの会				もんじゅの会		クリスマス会 ガールスカウト 交流会	初詣		もんじゅの会
	母の日交流会 (キリスト教訪問)		消防 立ち合い 訓練				消防 立ち合い 訓練		ゆず湯 もんじゅの会 近況報告発送	書初め		
各フロアで 行う活動	← 誕生会（該当月実施 各フロア共通） →											
	胸部 レントゲン			花火	近況 報告発送	敬老 月間		紅葉 散策	忘年会	七草粥	節分	ひな 祭り
	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容
会議 各月主任会議実施	フロア 本2	フロア 本3	フロア 新館	フロア 本2			フロア 本3	フロア 新館	フロア 本2	フロア 本3	フロア 新館	
	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議	リーダー 会議
環境整備	衣替え フィルター 掃除	加湿器 洗浄・乾燥・収納	消防 対策		大掃除	大掃除	衣替え フィルター 掃除	消防 対策	大掃除	掃除 換気設備	掃除 排水管・窓含	車椅子 清掃・修理
	リネン 交換				業者 大掃除	業者 大掃除	リネン 交換		正月飾り (28日～)			

藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 看護課

【サービス目標】

- 利用者が生活していく中で、その人らしく快適に暮らせるように寄り添い、安心できる生活を送れるように努める。
- 感染症予防と拡大防止の早期徹底に努める。



【数値目標】

- 1カ月レセプト
目標

230,000点



【具体的な取り組み】

- 依然コロナのクラスターは周期的に起こるが、施設医による治療薬の処方が可能となったことや、感染症対策により、軽症で終わるケースも増えているため安心した施設内療養ができるよう努める。
- 足爪のトラブルが増えていたため、爪切りや肥厚の防止をし、悪化を予防できるようフットケアを行う。



藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 看護課

【具体的な取り組み】

■ 感染予防

- 尿路感染：介護士と連携を図り、陰部洗浄の実施方法を見直し、陰部や臀部の皮膚トラブルを予防する。
- 誤嚥性肺炎：食事介助の方法に注意し、口腔ケアをしっかり行う。
- 異常に対して早期に対応できるようにする。



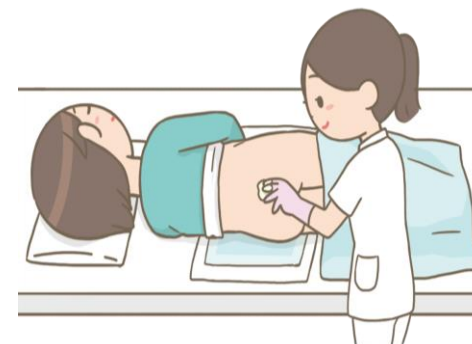
■ 皮膚乾燥による皮膚トラブルの予防

- 褥瘡予防と乾燥による皮膚トラブルなど早期に対応し栄養状態などを確認し皮膚疾患に注意する。
- 爪の変形や周囲炎に注意し皮膚トラブルを予防する。



■ 利用者の想いに寄り添う

- 多職種との連携を図り、個々のニーズを発見し対応できるようにしていく。



藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 栄養課

【サービス目標】

- 利用者の健康状態や身体状況に応じた栄養管理（栄養ケアマネジメント）サービスを多職種と協力して行い、個人にあったADLの維持・向上に努める。
- 利用者にふさわしく安全で質の高い食事サービスを提供する。
- こども食堂の取り組みに積極的に参加する。

【具体的な取り組み】

■ 献立・栄養ケアマネジメント

- 献立は、食事摂取基準に基づいて適したものを立案する。
- 低栄養状態により引き起こされるるい瘦が、褥瘡の発生に大きく影響しているため、多職種が協働で適切な栄養管理や定期評価を行い、利用者の食の個別対応、食事の確保・栄養改善を行う。

■ マンネリ化の防止

- 四季の歳時に合わせた行事食と旬の食材を生かした献立作成をする。
- 季節の果物の提供回数を増やす。
- 調理現場を目の前で見る事により、利用者の刺激になる様な食事会や目前調理などのイベント食を実施する。特に重度化した方に対しては、『香り』で刺激を受けていただける目前調理を提案、実施する。
- 給食会議やフロアへの聞き取りを活かした食事の意見交換をする。

■ 個別対応

- 可能な限りの嗜好と食事形態の個別対応をする。
- 料理（主菜）の選択が出来るセレクトメニューの実施をする。

藤井寺特別養護老人ホーム 生活支援部 栄養課



《おせち》
普通・一口



《おせち》
職員・持ち帰り



《敬老祝賀会》
普通食



《クリスマス会》
ゼリー寄せ



《クリスマス会》
テリーヌ



藤井寺デイサービスセンター

【サービス目標】

- 「利用者主体」のサービスを提供するため、「自己実現欲求」を満たせるアクティビティの開発と環境整備を行う。

【数値目標】 定員数：39名

- 実人数  100名
- 1日平均利用者数  32名 (稼働率82%)

【具体的な取り組み】

- IT介護機器による更なる業務内容の改善
 - 新たな機器を導入し、スタッフがより利用者に関わる時間を作れるよう改善を行う。
- 運動サービス
 - PT指導のもと、介護士や看護師と連携を行い、個々に適した訓練メニューを提供、開発をする。



藤井寺デイサービスセンター

■ 新しいアクティビティ活動の開発

- 個々のニーズに即したアクティビティ、イベント、体操メニューの開発や提供を実施する。
- 創作活動の作品を展示する場をつくり、利用者のモチベーションが向上できる工夫をする。

■ 職員の心構え

- それぞれの個性を生かし、ともに笑顔で楽しくいきいき活動できる雰囲気作りをする。
- わずかな時間でもコミュニケーションを行い、ニーズの把握をする。
- 家族、介護者、ケアマネジャー、医療機関との連携を密にし、報告、連絡、相談を徹底し情報を共有する。



ヘルパーステーションみささぎ

【サービス目標】

- 利用者、家族と共に考え、関係機関と連携し、在宅生活を少しでも長く続けるためのサービスを提供する。
- 身体介護や重度者対応など専門性の求められるサービスを積極的に提供する。

【数値目標】

- 月平均訪問時間 **1500** 時間
- 身体・身体生活介護の割合 **80%**
- 要介護4・5の利用者割合 **25%**
(加算に関わるため)

【具体的な取り組み】

- サービス品質向上につなげるため、遠慮せずに気付いたことや意見を言い合える職場づくりを継続する。
- 利用者、家族の想いを受け止めるために、身体的変化だけでなく何気ない変化や精神面の様子を重要視した情報共有を行う。
- 合併後のワークフロー整理を上半期で完了させる。
- 業務効率化を確立し、リフレッシュ休暇を気軽に取得できる体制をつくる。





高齢者ケアセンター つどうホール

特別養護老人ホーム
つどうホール

- ・ 生活支援部介護課
- ・ 看護課
- ・ 訓練課
- ・ 栄養課

デイサービスセンター
つどうホール

グループホーム
つどうホール

ケアプランセンター
みささぎ



Misasagi

特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 介護課

【サービス目標】

- 利用者の満足度向上を図る。
- 業務改善を積極的に実施する。
- ショートステイ利用者の家族やケアマネジャーとの連携を強化する。

【実績目標】 定員数：特養50名 SS：17名（障がい2名）

- 年間稼働率

 **100%**

【具体的な取り組み】

■ 利用者の満足度向上

- スタッフ個々のアイデアや強みを活かした行事やレクリエーションを企画し実施する。
- 外出や誕生会など、家族も一緒に参加できる行事を企画する。
- 居室の表札を見なくても、『〇〇さんの部屋』と分かるぐらい、家族写真や思い出の私物にあふれた個性を活かしたお部屋作りを行う。

■ 業務改善

- 定期的に通常業務のなかの『ムリ・ムダ・ムラ』を見える化し、業務の改善、効率化を図る。
- 業務改善で得られた時間は、利用者に関わる時間に活用する。
- 夜勤業務の負担軽減や週休3日制など、これまでの働き方に捉われない働き方にチャレンジする。



特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 介護課

■ ショートステイ利用者・家族・

ケアマネジャーとの信頼関係の構築

- 利用中の様子や変化などがあれば迅速に関係者に文書や電話にて報告、情報共有を行い、信頼関係の構築に努める。相手から依頼された内容に対して必ず結果を随時報告する。
- 持参された持ち物に関しては、持ち物チェックアプリにて管理し、入所時の写真撮影、退所時の現物確認を行い、確実に返却することで持参品の紛失や返却忘れを防ぐ。
- 空床が出たら迅速に他の事業所に空き状況の案内を行い、ケアマネジャーとの関係構築に努める。
- 障がいショートステイも安心して活用いただけるよう周知活動を行う。



特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 介護課

■ 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養全体 行事	花見	菖蒲湯		七夕 祭り	夏祭り	敬老 祝賀会	遠足	遠足	忘年会 ゆず湯	新年 祝賀会	節分	ひな 祭り
									餅つき 年越し そば	初詣 書初め		
各フロアで 行う活動	← 誕生会（該当月実施 各フロア共通） →											
				花火		敬老 月間		秋の 遠足	忘年会		節分	作品 展示会
	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容	理容 美容
クラブ活動	← 書道・フラワーアレンジメント （毎月実施 各フロア共通） →											
会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議	リーダー/ 主任会議
環境整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備	車椅子 整備
	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練	避難 訓練

特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 看護課

【サービス目標】

- 感染予防と褥瘡予防を徹底する。
- 介護士の緊急時対応のレベルアップ。

【数値目標】

- コロナクラスターゼロ
- 褥瘡ゼロ

【具体的な取り組み】

■ 感染予防対策の実施

- 介護士の感染症に対する知識と技術の習得の為に、定期的に研修会を実施する。
- コロナウイルスやインフルエンザのワクチン接種を適時迅速に行う。
- 利用者や職員、職員の家族などの感染罹患に関する情報を早期発見・早期対応する。

■ 褥瘡予防対策の実施

- 体位変換やポジショニングについて、介護士や機能訓練士と連携しながら実施する。
- 褥瘡の予防方法や処置方法などの研修会に積極的に参加する。

■ 緊急時対応の実施

- 介護士に対して吸引の手技方法やAEDの操作方法、心臓マッサージ等についての定期的な研修を実施し、緊急時対応のレベルアップを図る。



特別養護老人ホームつどうホール 生活支援部 栄養課

【サービス目標】

- 食事提供サービスの充実
- 個々の利用者に合わせて栄養管理の実施
- 衛生管理の徹底

【具体的な取り組み】

■ 食事提供サービス

- 委託業者を交えた給食会議を実施し、利用者の嗜好・意見を反映させた献立作成、祝い膳・行事・イベント食などの企画・立案に取り組む。
- 食材費高騰によりコストのかかる食事会の開催は難しいため、おやつ時間帯にお好きな飲み物・菓子を選んでもらい「選ぶ楽しみ」を見つけて頂く機会を作る。



《七夕御膳》



《敬老・やわらか食》



《敬老・普通食》

■ 栄養管理

- ミールラウンドを強化し利用者の健康状態を把握、多職種が協働して個々に見合った栄養ケアマネジメントを行う。
- 個々に応じた食事形態の工夫をする。

■ 衛生管理

- 感染症予防と感染拡大時の対応を強化する。
- 厨房職員への衛生指導を定期的に行う。
- 厨房内清掃・消毒の徹底と衛生チェックを実施する。

デイサービスセンター つどうホール

【サービス目標】

- クラブ活動とイベントをより充実させる。
- リハビリサービスを強化する。
- 認知症予防プログラムを実施継続する。
- 安全で安心なサービスの提供に努める。
- 障がい者の方も安心して利用できる環境を作る。

【数値目標】 定員数：50名

- 実人数  130名
- 1日平均利用者数  42名 (稼働率80%)

【具体的な取り組み】

■ クラブ活動とイベントの充実

- 各職員が担当するクラブ活動（書道・園芸・絵画・麻雀・創作）を継続実施する。
- イベント(誕生会・季節行事等)を積極的に実施する。
- 新たなボランティアの受け入れを行い、クラブ活動やイベントに参加してもらう。



デイサービスセンター つどうホール

■ リハビリサービスの強化

- 理学療法士と運動訓練指導員が実施している「つどうホールトレーニング倶楽部」を継続する。
- 身体機能の評価や在宅生活での注意点を家族や担当ケアマネジャーに積極的に発信する。

■ 認知症予防プログラムの継続実施

- デュアルタスクの継続実施と新たな参加者を発掘する。
- 脳トレ活動の継続実施をする。

■ 安全で安心なサービスの提供

- 送迎サービスにおいて地域の方にご迷惑をお掛けしない。
- 認知症が進行している利用者の受入れを断らない。



グループホーム つどうホール

【サービス目標】

- コロナ禍で自粛していた利用者の活動を元に戻し、楽しく活気のあるグループホームをつくる。

【実績目標】 定員数：9名

- 稼働率

 **100%**

【具体的な取り組み】

■ レクリエーションやイベントのさらなる充実

- 気候が良い時期に、ベランダでの園芸活動や近隣の散策を実施する。
- 女性利用者対象のメイクや座ってできるヨガ、音楽レク活動などの新たなレクリエーションプログラムを開発し実施する。
- 家族と一緒に参加してもらえようような外食や外出のイベントを企画する。



■ 家族へのサポート

- グループホームの活動状況をよりよく知ってもらう為、ホームページでのブログの定期的な発信を行う。
- 写真だけでなく動画も含めた記録媒体を活用して、家族に利用者の様子を分かりやすくお伝えする。

■ 外部との連携

- 2カ月に1回の運営推進会議を定期的実施継続する。
- 津堂地区の防災活動に参加し、非常災害時の協力体制の構築に努める。



ケアプランセンター みささぎ

【サービス目標】

- 業務改善を積極的に実施する。
- 介護報酬改定後の適切な運営の実施に努める。

【数値目標】

月平均

ケアプラン作成件数

 **260**件

【具体的な取り組み】

■ 業務改善

日常業務の中の『無駄』『手間』を徹底的に洗い出して改善する。

(具体的な方法)

1. 1か月・1週間・1日で行っている業務の洗出し。
2. 役割が偏っていないか適正な役割分担の見直し。
3. 一つ一つのケアマネジメント過程で、過剰な記録・不足した記録になっていないか根拠の確認。
4. 通常業務の中で感じた事は都度意見交換を行い、改善可能なことは変更する。

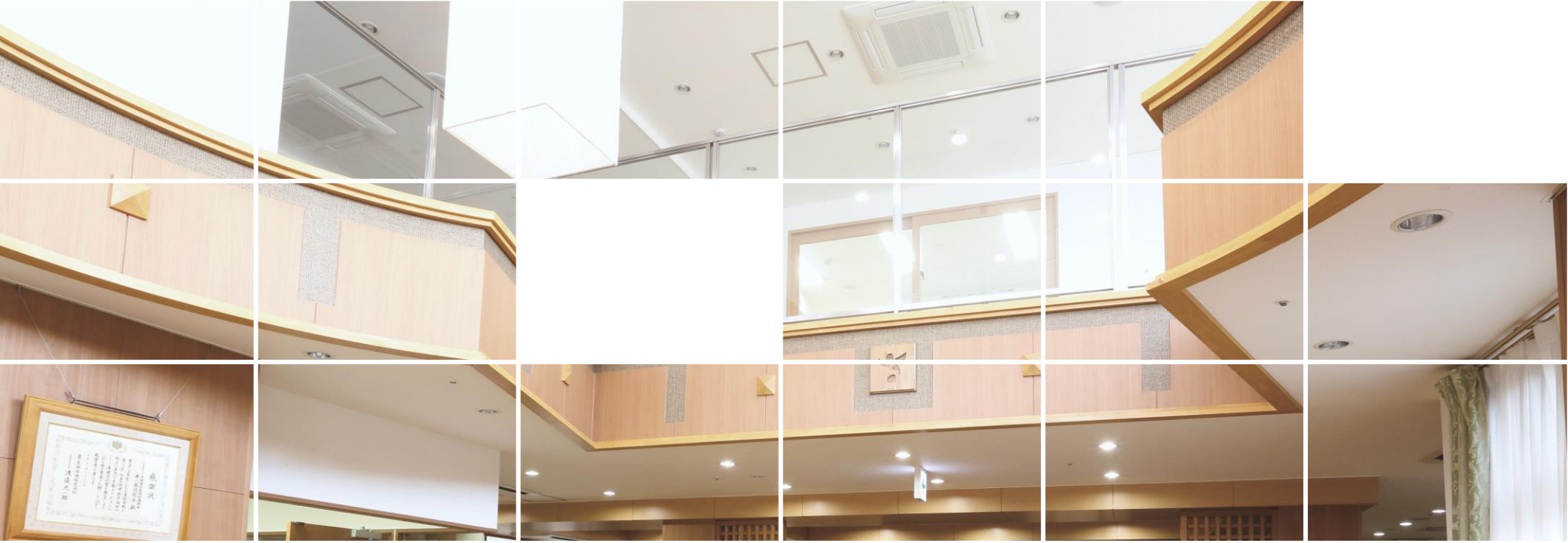
■ 介護報酬改定後の適切な書類整備

- 今年度は介護報酬改定の年になるため、書類の不備が無いようつどうホール全部署の書類チェックを行う。(加算の理解度確認、根拠となる資料が作成されているか等)

令和6年度介護報酬改定の概要	
■ 人口構造や社会経済状況の変化を踏まえ、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」を基本的な視点として、介護報酬改定を実施。	
1. 地域包括ケアシステムの深化・推進	
■ 認知症の方や単身高齢者、医療ニーズが高い中重度の高齢者を含め、質の高いケアマネジメントや必要なサービスが切れ目なく提供されるよう、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取組を推進	
・ 質の高い公正中立なケアマネジメント	・ 看取りへの対応強化
・ 地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取組	・ 感染症や災害への対応力向上
・ 医療と介護の連携の推進	・ 高齢者虐待防止の推進
▶ 在宅における医療ニーズへの対応強化 ▶ 在宅における医療・介護の連携強化	・ 認知症の対応力向上
▶ 高齢者施設等における医療ニーズへの対応強化	・ 福祉用具貸与・特定福祉用具販売の見直し
▶ 高齢者施設等と医療機関の連携強化	
2. 自立支援・重度化防止に向けた対応	
■ 高齢者の自立支援・重度化防止という制度の趣旨に沿い、多職種連携やデータの活用等を推進	
・ リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組等	
・ 自立支援・重度化防止に係る取組の推進	
・ LIFEを活用した質の高い介護	
4. 制度の安定性・持続可能性の確保	
■ 介護保険制度の安定性・持続可能性を高め、全ての世代にとって安心できる制度を構築	
・ 評価の適正化・重点化	
・ 報酬の整理・簡素化	
3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり	
■ 介護人材不足の中で、更なる介護サービスの質の向上を図るため、処遇改善や生産性向上による職場環境の改善に向けた先進的な取組を推進	
・ 介護職員の処遇改善	
・ 生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり	
・ 効率的なサービス提供の推進	
5. その他	
・ 「書面提示」規制の見直し	
・ 通所系サービスにおける送迎に係る取扱いの明確化	
・ 基準費用額（居住費）の見直し	
・ 地域区分	

※厚生労働省HP

『令和6年度介護報酬改定の主な事項について』引用



高齢者ケアセンター 大仙もずの音

特別養護老人ホーム
大仙もずの音

- 生活支援部介護課
- 看護課
- 訓練課
- 栄養課

大仙もずの音
デイサービスセンター

大仙もずの音
ケアプランセンター



特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 介護課

【サービス目標】

その人らしい暮らしの継続支援

- 丁寧・細やかな生活援助と基本介護を最優先事項として徹底する。
- 利用者一人ひとりの個性や生きがいを尊重し、生活の中で自己決定できる場面をより多く作る。

【実績目標】 定員数：特養80名 SS：20名

年間稼働率

 99.5%

【具体的な取り組み】

■ 認知症の理解や利用者が安心できる適切なケアを提供する

- ユマニチュードケア活用による安心感の提供を行う。
- 外部研修に4名以上参加する。
- 内部研修をグループリーダーが年間計5回行う。
(リーダー会議日に6月から2ヶ月ごとに開催)
- BPSDが強い方がいた場合、事例検討・カンファレンスを行う。

■ 季節にあった身だしなみ・生活環境の整理整頓に努める

- 利用者に気持ちよく過ごしてもらうよう、衣替えはシーズン毎に家族へ案内を行い、家族と協力して実施する。
- 入浴用衣類袋に札を付け、利用者の嗜好に応じたシーズン毎の衣服調整を行う。
- 爪切りは、最低10日に1回行う。
(居室順で日付の末尾の居室利用者を行う)

■ 家族との信頼関係を深める

- ケアプラン作成時には家族に来所してもらい、ケアに対する意見や要望を聞き取る。
- 日々の面会や行事への参加を依頼し、また日頃の利用者の様子を見てもらい、サービスへの理解に繋げる。
- 家族との信頼関係を構築するため、家族交流会を実施する(11月～2月開催予定)

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 介護課

■ 利用者や家族が望む看取りケアの実現

- 看取りケアマニュアルをもとに、利用者の状態変化に応じたケアを実践していく。
- ケアプランの更新毎に、どのような終末を望むのかを利用者・家族に確認し、利用者や家族が望む暮らしや終末を迎えることができるよう取り組む。
- 食事量の低下や体調面の低下がみられた場合は、重篤になる前に主治医を交えケア内容を検討し看取りケアを実施する。
- 看取りケアが終了した後、10日以内に関係する職員で振り返りを実施し、今後のターミナルケアに繋げていく。



■ 働きやすい職場環境の実現

- 業務を見える化し、無駄な業務の整理や効率化を図る。適切な役割分担をすることで職員の負担軽減を行い、直接援助に集中できる職場環境を作る。
- 体位交換時の介護職員の負担軽減を図るため、年度内に自動体位交換機能付きエアマットを導入する。
- 利用者の異常早期発見と夜間の巡回・見守りなどの負担軽減を図るために、年度内にシルエットセンサーを導入する。
- 新人職員が働きやすくかつ定着できる環境を実現するため、技能評価シートを活用し個々の習熟度に合わせた研修期間の設定や業務フォローを行う。
- ケアカルテの活用や共有フォルダの使用等によるペーパーレス化を進める。

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 介護課

■ 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養全体 行事		遠足	遠足			敬老祝 賀会	遠足	遠足	餅つき	新年 祝賀会	節分	
										初詣		
各フロアで 行う行事	← 誕生会（該当月実施 各フロア共通） →											
	花見	テラスでの 食事会 4・5階		花火	花火		秋祭り	紅葉 散策	クリスマス会	七草粥		ひな 祭り
	テラスでの 食事会 2・3・6階			七夕					忘年会	新年会		
クラブ活動	← 書道・フラワーアレンジメント（毎月実施 各フロア共通） →											
家族交流会								2階	3階	4階 5階	6階	
環境整備	五月人形 設置	衣替え	寝具 入替	遮光カーテン 設置			衣替え	加湿器 設置	クリスマス ツリー装飾 (1日~)		ひな人形 設置	
	加湿器 撤去			扇風機 設置			寝具 入替		正月飾り (28日~)			
							扇風機 方付け					

特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 看護課

【サービス目標】

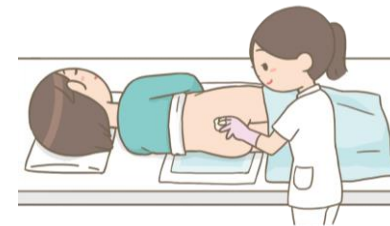
■ 誤嚥性肺炎予防による入院者を減らす

- 誤嚥性肺炎のハイリスク利用者をピックアップする。
- 口腔ケアの方法を個別に見直しケアプランに立案する。
- 口腔ケアに必要な道具を整備する。
(モンダミン、緑茶(要常備)、口腔ジェル)
- 歯科医師、歯科衛生士とのミールラウンドを通じてケアを適宜見直す。
- 介護士を対象とした口腔ケアの学習会を行う。
(歯科医師、歯科衛生士、看護師)
- ケアカルテの活用や共有フォルダの使用等によるペーパーレス化を進める。



■ スキンケア方法を見直し、皮膚トラブルを減らす

- 入浴後に使用する保湿剤を見直す。
- 皮膚トラブルを発見した際は、早期皮膚科受診し悪化を防ぐ。



■ フットケアを継続し蜂窩織炎等の予防をする

- フットケアに必要な道具を整備する。(ルーペ付き爪切りやニッパーなど)
- 足先は観察が漏れがちであるため、チェック表を用いて漏れなくケアにあたる。
- 皮膚トラブルを発見した際は、早期皮膚科受診し悪化を防ぐ。



特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 訓練課

【サービス目標】 特別養護老人ホーム

■ ポジショニング・シーティングを推進

目標（年度末の状態）

- CW：ポジショニング・シーティングの意義を理解し完遂できること。
- 利用者：四肢の筋緊張(拘縮)、姿勢改善など。

対象：モデルフロアを設定し集中的に取り組む。

（内容）

- 姿勢評価後、ポジショニング・シーティングの見本（写真）を作成し周知する。
- 勉強会を開催する。
- ピローの不足分を購入する。
- ケアカルテの活用や共有フォルダの使用等によるペーパーレス化を進める。



※ノーリフティングケア資料
介護老人保健施設ピアハウス高知参照

■ ノーリフトケアを推進

目標（年度末の状態）

- CW(アンケート実施)：介助時の負担の軽減、腰痛の改善、2人介助減少など。
- 利用者：四肢の筋緊張(拘縮)、姿勢改善など。

対象：モデルフロアを設定し集中的に取り組む。

（内容）

- 事前と事後アンケートを実施する。
- ノーリフトケア勉強会(外部)に参加する。
- ノーリフトケア導入施設への見学を行う。
- 機器の体験・見学を行う。(バリアフリー展など)
- 勉強会(内部)を開催する。
- ベッド昇降、ギャジアップ、スライディングシート、スライディングボード、リフト(スタンディング、スリング)など。
- リフトなどの購入・導入を行う。



特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 訓練課

【サービス目標】 ショートステイ

■ 個別リハビリをより多くの利用者へ提供

- 目標（年度末の状態）
家族より「SSに入ると機能が落ちて帰ってくる」との意見がなくなること。
- 実人数：10名以上
- 実施率：90%以上(現在20%)
- 内容：運動量を確保する。
(SS入所中は運動量減少するため)



【サービス目標】 デイサービス

■ いきいき長生きリハビリクラブの継続と充実

- 目標（年度末の状態）
デイサービスの選択メニューの一つとして定着化
- 実施日/場所：毎週木・金曜日
(6階オキュペーションルーム)



特別養護老人ホーム 大仙もずの音 生活支援部 栄養課

【サービス目標】

■ 利用者の食べたい想いを叶える

- ムースやキザミ食など外食が難しい食事形態の方でも楽しめる食事レクや、利用者の食べてみたいという希望を叶える企画、取り組みを実施していく。



【具体的な取り組み】

■ 節目のお祝いにおいて食べたい物を提供

- 介護士と調理師、栄養士が協力し、節目の誕生日を迎える方の食べたいものや思い出の味を提供していく。
- 年間で5人実現できるように、実施していく。

■ ムース食・やわらか食の提供方法を検討

- ムース食の盛り付け方法や、やわらか食の調理方法の検討を行っていく。それにより、食事形態関係なく食べることに楽しみを持っていただける取り組みに繋げていく。

■ 新しいメニューの開発

- 利用者の「食べてみたい」や「こうなれば食べやすい」等の要望を聞き、新たなメニューや既存メニューの改良を行っていく。

■ コスト削減

- 廃棄を減らす、材料の変更を行うなどを行い、美味しさを追求しながらコスト削減に取り組んでいく。また、作業の効率化のために新たな食材や機材の導入を検討していく。
- ケアカルテの活用や共有フォルダの使用等によるペーパーレス化を進める。

大仙もずの音 デイサービスセンター

【サービス目標】

- 「一日一笑」をスローガンとし、利用者が笑って過ごせる空間を作る。
- 利用者が役割を持ち、他利用者や職員と共に主体的な活動ができるよう支援する。

【数値目標】（定員数：50名）

- 1日平均利用者数
- 稼働率

 40名

 80%

年間目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
実績/日	37	38	39	40	41	42	43	43	41	40	39	39	40.2
実人数	120	122	124	126	128	130	132	134	134	132	130	130	128.5
新規	5	5	5	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5.4

【具体的な取り組み】

■ アクティビティの充実

- 利用者がやりたいことを自身で準備し、実施できる環境を整える。
- 新たなレクリエーションを立案・実践をする。（毎月1個目標）
- 給食部と共同し、食事イベントを毎月実施する。



大仙もずの音 デイサービスセンター

■ リハビリテーションの充実

- ・ リハビリ特化プログラム（いきいき長生きリハビリクラブ）を継続し、運動ニーズの高い利用者の身体機能の維持と利用者の満足度向上に繋げる。
- ・ 新たな「遊びリテーションメニュー」の立案・実践をする。（毎月1個目標）

■ 認知症予防プログラムの実施継続

- ・ 認知機能維持に繋がるよう脳トレ活動・歩容活動を継続し、健康で末永く在宅生活を送っていただけるよう支援する。歩容活動は、参加者20名を目標とする。

■ 業務改善

- ・ 介護補助員やボランティアを受け入れ、介護士以外にも出来る間接業務を担ってもらうことで、介護士と利用者の関わる時間を増やし、より質の高い介護を提供していく。
- ・ ケアカルテの活用や共有フォルダの使用等によるペーパーレス化を進める。



《脳トレ例》

◇2つの絵の中から間違い探しをしてください。間違っているものは7つあります。

◇下の計算をしてみましょう。 正解数 /20問中

① $11+2=$	⑪ $10+11=$
② $4+10=$	⑫ $13+14=$
③ $9+5=$	⑬ $12+19=$
④ $8+14=$	⑭ $13+13=$
⑤ $5+19=$	⑮ $17+11=$
⑥ $11+4=$	⑯ $16+10=$
⑦ $4+16=$	⑰ $10+10=$
⑧ $10+1=$	⑱ $14+14=$
⑨ $13+7=$	⑲ $19+20=$
⑩ $16+3=$	⑳ $21+18=$

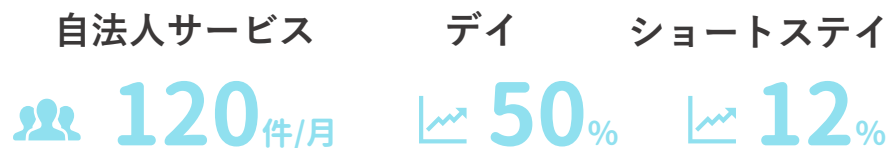
大仙もずの音 ケアプランセンター

【サービス目標】

- 多種多様のニーズに対し柔軟に対応ができるチーム作りをする。
- 地域との交流を図り、地域住民の相談窓口としての役割を担う。

【数値目標】

- ケアプラン件数（紹介率）



【具体的な取り組み】

■ 地域住民への協力・支援

- 高齢者世帯、独居高齢者などは、自身の置かれている状況の理解がしにくく、地域住民からのSOS依頼も増えている。日頃から地域住民や民生委員との関わりをもち、相談しやすい関係作りに努める。

■ 専門性を生かす

- 生活環境等の多重課題を抱えている利用者が増加している。解決困難な課題に直面した際は、チーム全体で協力し課題に対しての解決策を検討し提案していく。

■ 各部署との連携

- 新規・既存利用者に、各事業所の特色を紹介し、自法人サービスのメリットをアピールした上で自法人サービスの利用に繋がるよう連携を図っていく。
- ケアカルテの活用や共有フォルダの使用等によるペーパーレス化を進める。





社会福祉法人
みささぎ会 北第1地域包括支援センター

北第1地域 包括支援センター



北第1地域包括支援センター

【サービス目標】

- 地域包括支援センターを市民へ周知する。
- 認知症に対する市民の理解を深める。
- フレイルを予防し、健康寿命を延伸する。
- 権利擁護について啓発を行う。
- 圏域のケアマネジャーの質を向上させる。

【具体的な取り組み】

■ 総合相談支援

- 認知症サポーター養成講座を開催する。
対象：金融機関、小学校
- 月1回、イオンにおける「まちかどつながり相談室」の開催を継続していく。
- 地域の集いの場に参加し、随時相談に対応していく。
- 地域のネットワークを強化し、様々な機関との連携を深めていく。



北第1地域包括支援センター

■ 介護予防

- 地域の集いの場（現在13箇所）に参加し、介護予防の普及啓発を行う。
- 自主的に継続できる動機付けに力を入れ、健康教育、運動、脳トレ等を行う。
- 地域の集いの場が増えるよう、地域の支援者を後方支援していく。

■ 権利擁護

- 年1回、ケアマネ・サービス事業所向けに虐待予防研修を開催する。
- 虐待通報があれば早急に対応し、高齢者の権利を守る措置をとる。
- 地域の集いの場に参加し、特殊詐欺被害防止の啓発や、成年後見制度の普及啓発を行う。

■ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- 年2回、圏域ケアマネ事業所に対し、交流会・勉強会を開催する。
- 困難事例において、随時後方支援を行う。

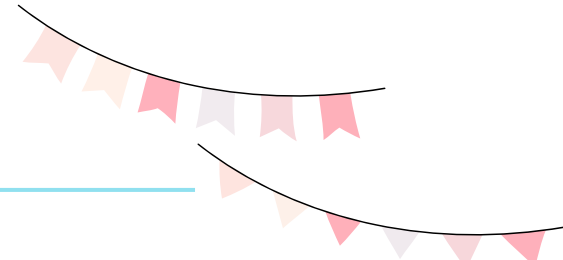




One On One

ワンオンワン ほいくえん






【サービス目標】

- 小規模で家庭的な環境を作り、安全を最優先した保育を提供する。
- 保護者との連携を密にとり、一人ひとりの発育に応じた保育計画を立てる。
- 散歩を保育の基本とし、遊びの中での経験や感じたこと、地域の方とのふれあいで一人ひとりの心と体の成長を育む。

【数値目標】 (定員12名)

- 年間平均入園者数  **9.2名/月**
- 開園区分を完全週 **6** 日以上



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
開園区分	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	週6日開所	—
0歳児	0	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	25
1歳児	2	2	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	43
2歳児	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	43
合計	5	6	7	8	9	10	11	11	11	11	11	11	111

【具体的な取り組み】

■ 自園庭砂場遊び

- 高齢者ケアセンター大仙もずの音3Fテラスを積極的に取り入れる。
- 身体機能の向上だけでなく集中力や忍耐力、社会性と協調力を育てる。
- 大仙もずの音の高齢者と触れ合う。

■ 豊かな身体感覚を養い一生の土台となる身体を作る

- 散歩を日々取り入れ、自然に触れる機会を多くする。

■ 豊富な食材、独自の献立により栄養バランスの取れた食事を提供する

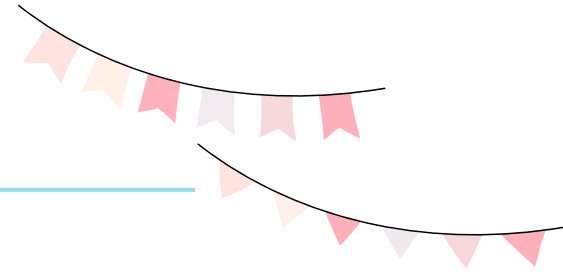
- 食べる達成感や充実感を味わい、楽しく食べる環境を作る。

■ 安全な保育の提供

- 園児個々の最新の情報を会議や職員の連絡ノートを通して共有し、統一した保育を提供する。
- 緊急時の対応（救命救急、乳幼児突然死症候群《SIDS》）防止に関する学習会を定期的に実施する。
- 主要感染症の学習会を毎月行い、日々の予防策を徹底し、体調変化の早期発見に努める。

■ 保護者支援

- 子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じられる支援をする。
- 多様化している家族への理解（外国籍家庭への配慮と支援、コミュニケーション）をする。



【具体的な取り組み】

■ 風通しの良い職場環境づくり

- 会話を大切にする
- 人を尊重する
- 気持ちを聴く
- 相手に寄り添う



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児												
行事予定	お花見 散歩 誕生会	端午の集い 誕生会	誕生会	七夕祭り 誕生会	夏祭り 誕生会	保護者 参加型保育 誕生会	ハロウィン おもいほり 誕生会	紅葉散策 誕生会	クリスマス会 誕生会	正月遊び 誕生会	節分 誕生会	ひな祭り 卒園・修了の集い 誕生会
職員	職業倫理 法令順守	事故防止 (午睡・散歩)	熱中症対策	AED 緊急時対応	事故防止	保護者対応	保育技術	事故防止			事故防止	保育技術
学習会	苦情受付 苦情対応	新型コロナ ウイルス 感染症対策	食中毒 感染症対策	虐待防止	RSウイルス 感染症対策	各種 アレルギー 基礎理解	インフルエンザ 感染症対策	手足口病 感染症対策	ノロ・アデノ ウイルス 感染症対策	風疹感染症 対策		溶連菌 感染症対策

① 災害支援ソーシャルワーク活動

HELP

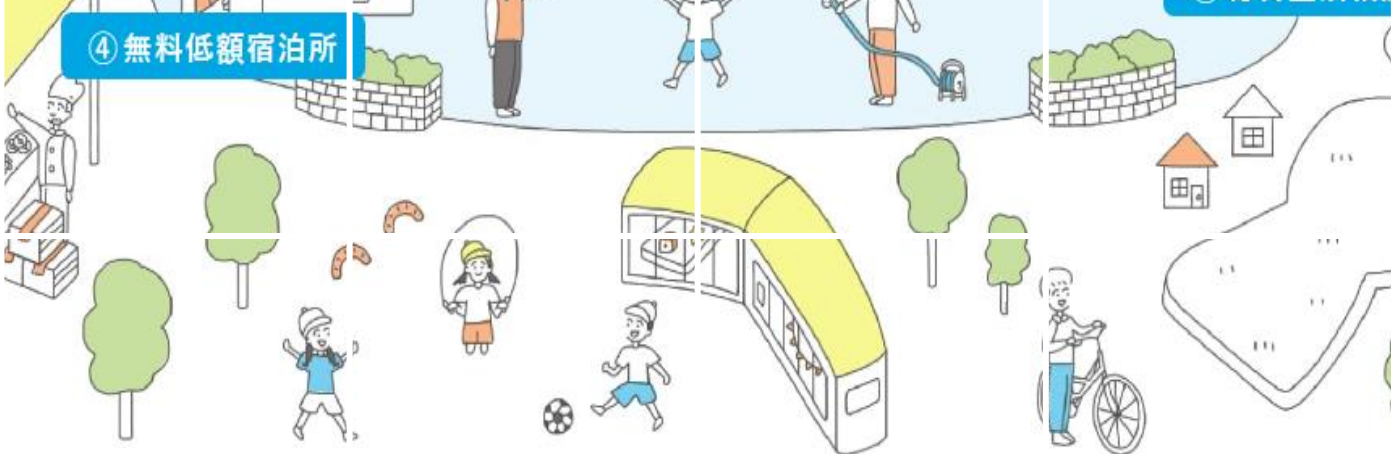


② 認知症予防・デリバリー事業

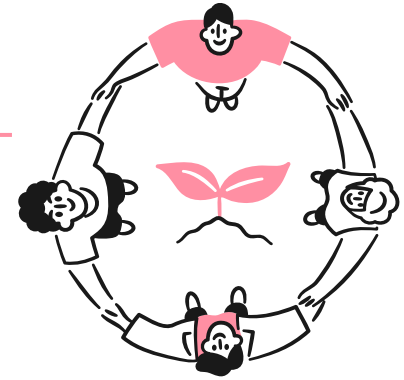


ソーシャルリレーション事業

④ 無料低額宿泊所



ソーシャルリレーション事業



Our Mission

これまで培ってきた専門性と地域との関係性を土台とし、
制度の狭間にある課題に向き合い
地域におけるソーシャルワークの中核的な担い手として
地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の一翼を担う

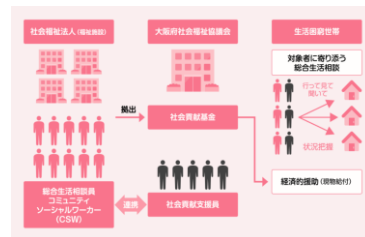
Realization
&
Creation

地域共生社会の実現に向けて

全員がプレイヤー！色んな人と繋がり、「重なる」ことで、
自分のスキルや可能性を広げる！

みんなで何ができるか考え、“あったらいいな”という事業を創造する！

■ 総合相談支援



- 社会の課題（格差問題、貧困問題、介護、DV、虐待、こどもの孤食、家庭内暴力等）に対し、ソーシャルリレーション推進室のソーシャルワーカー（社会福祉士等）が中心になり、どのような相談事もたらい回しにしないことをモットーにソーシャルワーク活動を行う。

■ 無料低額宿泊事業



- 住宅に困っている緊急を要する生活困窮者に対して、社会福祉法に基づく福祉サービスの基本理念に則り、無料又は低額で居室を貸し付け、又は宿泊所その他の施設を利用してもらい、自立した生活に向けて生活支援や就労支援を行う。

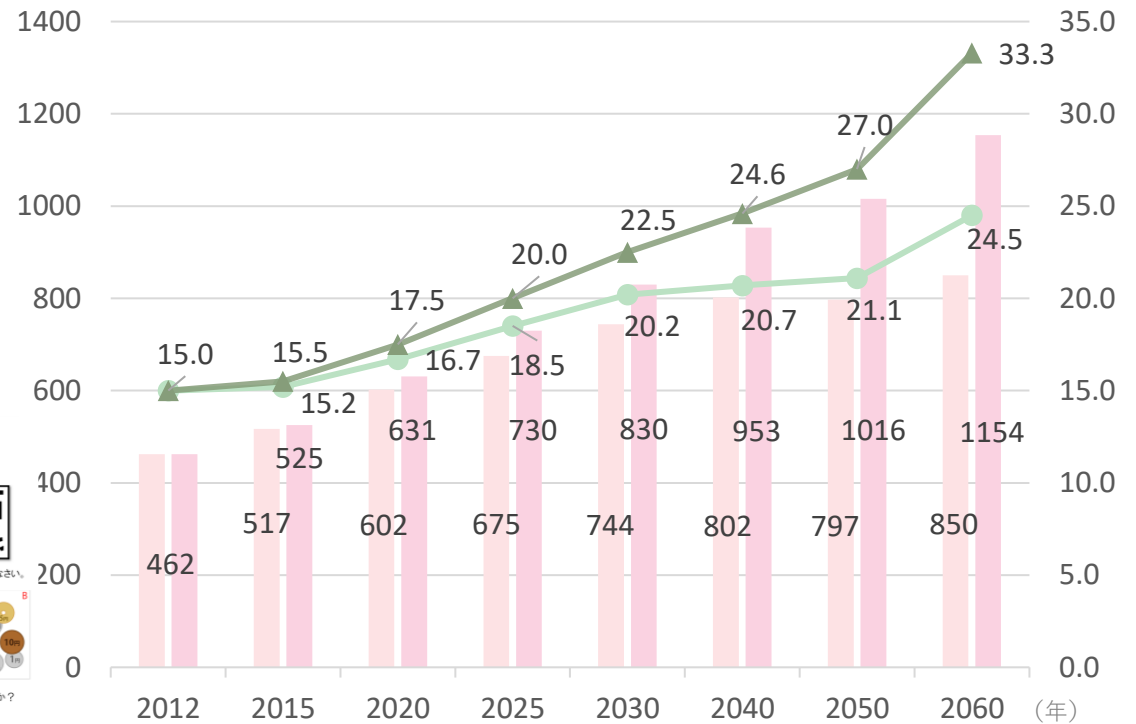
ソーシャルリレーション事業

■ 脳トレ

- 対象者：デイサービス利用者
- 参加人数：180名程／月
- 考える力や集中力を養うために、“読み・書き・計算”等の認知機能トレーニングを継続して実施する。



(万人) 65歳以上の認知症患者の推定者と推定有病率



- 各年齢の認知症有病率が一定の場合
- 各年齢の認知症有病率が上昇する場合 (人数)
- 各年齢の認知症有病率が一定の場合 (率) (右目盛り)
- 各年齢の認知症有病率が上昇する場合 (率) (右目盛り)

「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」
(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授より内閣府作成)

ソーシャルリレーション事業

■ デュアルタスク歩容調査研究

- 対象者：デイサービス利用者
- 参加人数：60名程／月
- 目標：100名／月
- 足踏みゲーム
- デュアルタスク歩容調査：大阪大学八木康史教授方との共同研究である高齢者歩容解析に関する研究にて、各施設デイサービスセンターに常設の歩容測定機器を設置、計算課題と歩行を同時に行う。
- 認知症予兆検知だけでなく、転倒予防の検知を行う。
- 転倒予防の指標として、TUG、片足立ち、握力測定を行う。

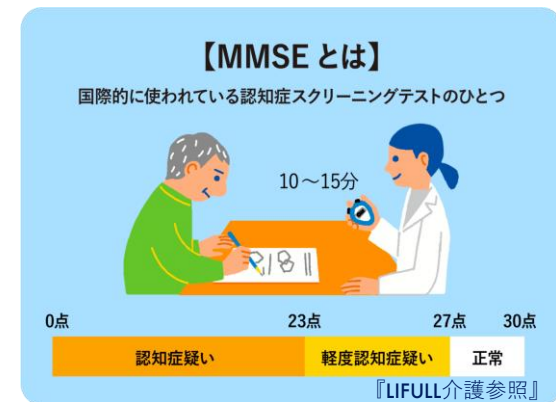
※TUG：Timed Up & Go Test

歩行能力や動的バランス、敏捷性などを総合的に判断するテストのことであり、高齢者の歩行速度、椅子からの立ち上がり、方向転換の機能を評価する方法。

期待：二つの情報を処理することで、脳に刺激が与えられ、認知機能の活性化に繋がると考えられる。

! 重点項目

- AIが歩容から判断したMMSEと実際のMMSEで乖離のあった事例を重点的に調査し、因果関係を調べる。



ソーシャルリレーション事業

■ デリバリー型介護予防教室

- 対象者：藤井寺市、堺市在住の地域住民
- 実施場所：各地区の集会所や地域会館
- CM・介護士・機能訓練指導員・NS・管理栄養士が中心となり取り組む
- ホームページ上に脳トレ掲載（例：スマート神戸）

- A) 転倒予防体操
- B) 思考活動（潤脳活動）
- C) 潤脳講座
- D) デュアルタスク課題
- E) 集団アクティビティ


期待：認知症・フレイル予防、社会参加活動

	地区	担当	開催月(予定)							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	南藤井寺 (第2水曜)	藤井寺	○					○		
2	藤ヶ丘 1・2丁目	藤井寺	○					○		
3	藤ヶ丘西	藤井寺			○					○
4	さくら町 (第2土曜)	藤井寺		○					○	
5	春日丘新町 (第2木曜)	藤井寺			○					○
6	陵南町 (第3土曜)	藤井寺		○					○	
7	藤井寺	藤井寺			○					○
8	野中	藤井寺					○			○
9	東藤井寺 (第2土曜)	つどう					○			○
10	御舟町	つどう		○					○	
11	川北	つどう		○					○	
12	川北老人会	つどう			○					○
13	大井	つどう	○					○		
14	西小室1丁目	つどう	○					○		
15	小山藤美町	つどう					○			○
16	堺区9班 (第2木曜)	堺		○					○	

ソーシャルリレーション事業

■ こども食堂『坂の上のキッチン』



 **対象者：主に小学生、保護者**

 **参加人数：35名程／1回**

 **開催頻度：月1回**
(毎月第3日曜日)



 **開設時間：11：30～15：00**



デラチャレ「こども食堂応援」

- 藤井寺市内のこども食堂9団体、関連団体との連携
- 藤井寺市内のこども食堂マップ作成等

- デラチャレとは -

みんなで地域福祉を考える「デラチャレ」プロジェクト第1弾

「こども食堂を応援したい」が第1弾のテーマ。藤井寺市内のこども食堂活動団体同士の情報交換や、今後の夢や課題解決を語り合う、集いの場にすることが目的。



参照：子育てマップ藤井寺

ソーシャルリレーション事業

NEW

■ 出張ふくし教育

- 対象者：近隣の小学校
- 実施場所：近隣の小学校

- A) 車いす体験
- B) 高齢者体験
- C) ブラインドウォーク
- D) 認知症について

期待：学びを通じて、地域の中の多様性に気づき、「福祉」を「我がこと」と捉え、自分が住んでいる地域に関心を持つ。



車いす
体験



高齢者
体験



ブラインド
ウォーク

ソーシャルリレーション事業

NEW

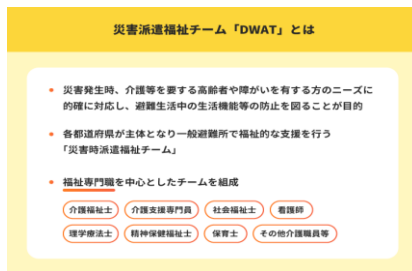
■ 施設の社会化・地域化



- 近隣住民・関連機関との繋がりを持ち、地域の清掃活動やお祭り等のイベント、防災訓練、共同募金等へ積極的に参加する。

NEW

■ 被災地支援（能登半島地震への派遣）



- 災害派遣福祉チーム「大阪DWAT」のよる一人ひとりに寄り添った支援を行う。

■ 年間スケジュール：藤井寺特別養護老人ホーム

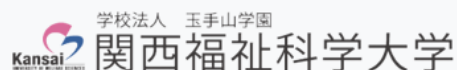
- 坂の上のキッチン（こども食堂）
- 介護予防教室
- 出張福祉教育
- ふれあい祭り
- 藤井寺市民祭り
- 地域防災
- 地域溝清掃

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
坂の上のキッチン (開催予定日表記)	21	19	16	21	18	15	20	17	22	19	16	16
介護予防教室												
出張福祉教育												
ふれあい祭り												
藤井寺市民祭り												
地域防災												
地域溝清掃												

ソーシャルリレーション事業

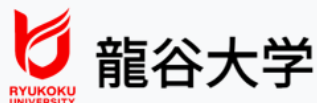
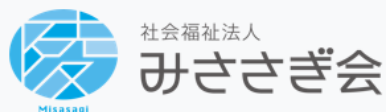
■ 各大学とのコラボレーション

各大学と提携し、各々の特性や強みを活かすことで地域社会へと貢献していく。
これらの活動を職員教育に結びつけ、サービスの品質向上を目指す。



リスクマネジメント研究

安全管理対策向上に向けて
インシデント・アクシデント
報告書を活用した研究に協力



大学院リカレント教育

学校教育から離れた後も仕事で求
められる能力を磨き続けられるよ
う、学びなおしを応援するため大
学院との包括協定の締結



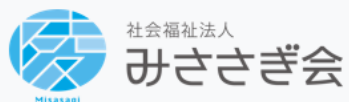
認知症予防研究

VR、デュアルタスク歩容機を
用いた認知症予防開発システ
ムへの貢献

ソーシャルリレーション事業

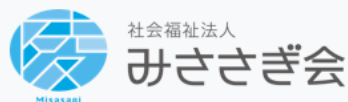
■ 各企業とのコラボレーション

様々な企業と連携することで、地域活性化や職場環境向上を目指す。



地域企業と社会貢献の コラボ

企業CSRと連携し、地域活性化、
地域福祉向上を目指す



地域密着型 「食のインフラ」とコラボ

地域交流を深めているゼン
ショーホールディングスのすき
家とこども食堂をコラボするこ
とで、地域活性化に繋げる



CARE CONNECT JAPAN

介護ソフト会社と 職場環境向上研究をコラボ

業務効率化だけでなく、職員特
性ベクトル調査による働きやす
い職場環境づくりを目指す



SKILL UP PROGRAM

— 学習計画 —

学習計画



そったくどうじ 『啐啄同時』

師匠が弟子に知恵の伝達を行う際の禅語です。

啐啄同時とは、鳥の雛が卵から産まれ出ようと殻の中から卵の殻をつついて音をたてた時、それを聞きつけた親鳥がすかさず外からついでに殻を破る手助けをすることを意味します。

これが「啐」と「啄」の関係です。互いが響同＝協同し合った時、新しい何かが生ずるのです。

学習の目的

志を抱き、自らの理想のためにはどのような境遇もいとわぬ人物となるための成長の機会を提供することを、当法人における学習の目的とします。

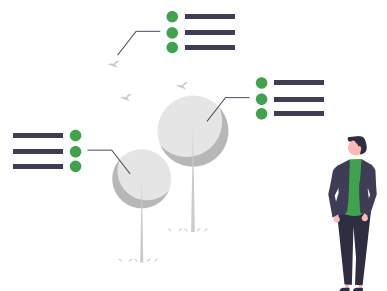
専門的な知識と技術を習得するのみならず、品性や感性を磨き、利用者や地域社会に貢献できる人材を育みます。職業人として、そして自分自身の生活がより豊かな日々になるように自己研鑽に努めましょう。

機会の提供

年齢、キャリア、資格、職種、生育歴、国籍等々、多様な人材が働く福祉現場において、一律な学習の機会ではなく、個々の意思や意欲・状態に応じた学びの機会を提供していきます。

ラーニングピラミッド

学んだことを実践や検証し、他者へ教え説明することで、より効果的な学習を目指します。



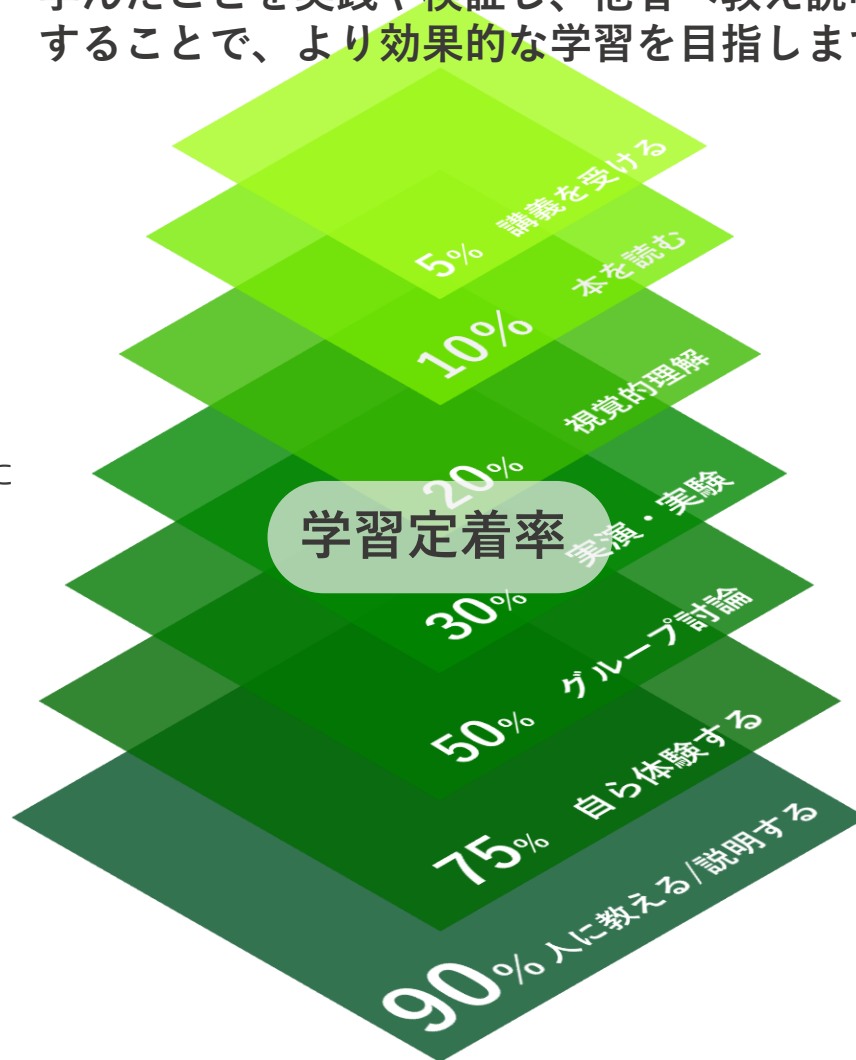
学習制度体系化

3つのカテゴリーに分けた学習制度を体系化します。

01 キャリア別

02 テーマ別

03 役職別



新たなキャリア形成をサポート

学習による知識の定着化のため積極的にサポートします。

- 介護福祉士や介護支援専門員試験の合格者を増やす
- 法人内講習会の実施
- 外部模擬試験の積極的活用

学習計画 研修レポート：様式簡略化

研修レポート：旧様式

研修レポート		施設長	トレーナー
研修名		参加者	
日時・場所	日時： 年 月 日 時～ 時 場所： 講師：		
研修内容	計 4 枚以上		

社会福祉法人 みささぎ会

研修レポート：簡略化した様式

研修レポート

氏名()

研修名	
講師名	
研修日時	令和 年 月 日 時 分 ~ 時 分
特に印象に残った点 ※3点以内に整理する	1 枚へ
実行したいこと *計画は具体的に記入する。 ・いつ・何を ・どのように	
上司コメント 上司() 記入日(/)	

研修後の予定 伝達研修(月頃) / 実践報告(月頃)

施設長	主任

社会福祉法人みささぎ会

学習計画 01 キャリア別学習内容（正規職員対象）

経験	期待像	到達目標	内部研修	外部研修
1年目	【技能】 <ul style="list-style-type: none"> • 通常業務ができる人 • 社会人として礼儀正しく行動できる人 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会人としての基本マナーを身に付ける • 専門職としての基本技術を身に付ける 	新人研修 (2ヶ月毎)	<ul style="list-style-type: none"> • サービスマナー研修 • 認知症基礎研修 • 喀痰吸引研修
2年目	【技能】 <ul style="list-style-type: none"> • 通常業務ができる人 • チューターとして後輩と関われる人 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会人としての基本マナーを身に付ける • 専門職としての基本技術・応用力を身に付ける • チューターの役割を果たせる 	<ul style="list-style-type: none"> • フォローアップ研修 • チューターミーティング 	
3年目	【技能】 <ul style="list-style-type: none"> • 通常業務以外の緊急時への対応など応用できる人 • 新人職員や実習生を指導できる人 	<ul style="list-style-type: none"> • 専門職としての知識や技術を他者へ伝えることができる • 新人職員への指導力を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> • フォローアップ研修 • 世代別学習会 	<ul style="list-style-type: none"> • 介福実務者研修 • 認知症実践者研修 • 介護福祉士実習指導者講習会 • リーダー養成研修 • ユニットリーダー研修 • 大阪府内研究発表大会 • 外部学習会(公募制)
4年目	【技能】 <ul style="list-style-type: none"> • 新人職員や実習生を指導できる人 【マネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> • サブリーダーや委員長といった小チームをマネジメントできる人 	<ul style="list-style-type: none"> • 新人職員への指導力を身に付ける • リーダーシップの基本を理解する 		
5年目以降	【技能】 <ul style="list-style-type: none"> • 最新かつ高度な専門職としての知識や技術力をもって、実践や指導ができる人 • 学習会講師ができる人 【マネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> • 役職者（GL・主任）としてチームをマネジメントできる人 	<ul style="list-style-type: none"> • 職種・役職ごとの専門性を高める • 大人数の職員へ、技術や知識を体系化して伝えることができるようになる • リーダーシップの基本を理解する 	世代別学習会	<ul style="list-style-type: none"> • 認知症リーダー研修 • 介護機器展 • 近老協、老施協研究発表大会 • 他施設との人事交流 • 外部学習会(公募制)

学習計画 01 キャリア別学習内容 年間予定

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内部	新人研修 (前半)	新人研修 (後半)		実技 <small>(内容はアンケート)</small>		実技 <small>(内容はアンケート)</small>	ベスチャレ 2024		救命救急		実技 <small>(内容はアンケート)</small>	
	外部		サービス マナー	認知症 基礎研修									
2年目	内部				チューター ミーティング	フォロー アップ研修 <small>(内容はアンケート)</small>		チューター ミーティング	フォロー アップ研修 <small>(内容はアンケート)</small>		チューター ミーティング		
	外部						喀痰吸引研修						
3年目	内部					世代別 学習会			世代別 学習会			世代別 学習会	
	外部		リーダー養成研修／介護福祉士実習指導者講習会 ／ユニットリーダー研修					認知症実践者研修					
4年目	内部					世代別 学習会			世代別 学習会			世代別 学習会	
	外部		リーダー養成研修／介護福祉士実習指導者講習会 ／ユニットリーダー研修					認知症実践者研修					
5年目 以降	内部					世代別 学習会			世代別 学習会			世代別 学習会	
	外部		介護機器展					認知症リーダー研修		介護機器展			

学習計画 01' 世代別学習内容（4年目以上の正規職員対象）

目的	内容	対象年齢									
		20	25	30	35	40	45	50	55	60	
年長者の理解	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク 課題図書を要約発表 										
自己覚知	<ul style="list-style-type: none"> ミツカリ FFS理論による自己理解 自分史 										
若者の理解	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク 課題図書を要約発表 <p>（例：『先生、どうか皆の前でほめないでください。いい子症候群の若者たち』）</p>										

FFS理論とは：チームを編成するにあたって、そのチームの個々のメンバー特性を理解したうえでそれぞれのメンバーが持つ強みや弱みを客観的に把握する手法

学習計画

02 テーマ別学習内容（正規・パート職員対象）

	対象者	目的	内容	実施者
感染症学習会	全職員	感染症に対しての正しい知識を持ち、適切に対応できるようになる	スタンダードプリコーションや、インフルエンザなどの各感染症対策を理解する	看護師
TP-KYT学習会	介護士・看護師・訓練士	危険予測する力の重要性を知り、リスク対応能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> TP-KYTを実施 リスクコミュニケーションを行う 	外部講師 介護主任・GL
虐待防止学習会	全職員	虐待や不適切ケアを理解し、虐待を未然に防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> 虐待の定義 不適切なケアチェックシートを元にセルフチェック 	研修担当者 介護主任・GL
看取りケア学習会	介護士・看護師	看取りの基本を理解する	各ステージの状態変化とその時々のケアと家族支援	看護師
安全運転講習	60歳以上 デイ運転手	安全運転技術を再確認する	自動車教習所にて安全運転講習及び適正を実施	(外部) 自動車教習所 (内部) JAF派遣講習会
日本語学習会	外国人職員	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の基礎能力を高める 日本語能力試験合格 	日本語の勉強	施設長 介護主任・生活相談員
ケアマネ試験必勝講座	受験希望者	ケアマネ試験合格	ケアマネ試験勉強	次長 主任ケアマネ
ベスチャレ2024		各部署の先進的取り組みを発表し共有する		ベスチャレ運営委員 各施設で予選を行いエントリーする
ユマニチュード学習会	全職員	認知症の理解を深め、適切な応接ができるようになる	ユマニチュード技法の基本を学び、事例検討する	介護主任 ユマニチュード研修修了者
ユマニチュード実践者養成4日間研修	代表施設 選抜者6～12名	ユマニチュード技法の理論を学ぶと共に、実践を繰り返す、技術を習得する	4日間にわたって施設内において、講義、実技演習、実際の利用者を対象としたベッドサイド実習を繰り返す	IGM-Japonユマニチュード認定 インストラクター

学習計画 02 テーマ別学習内容 年間予定

★★印以外は、各施設で朝礼や集合で学習の時間を作り実施

	開催回数 /年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
感染症学習会	2			食中毒				インフル ノロ					
TP-KYT学習会	2												
虐待防止と 人権学習会	2												
看取りケア 学習会	2							インフル ノロ					
業務継続計画 (BCP)	3		感染症 ガウン テクニック				台風対策				地震対策		
法令順守	2			個人情報保護							個人情報保護		
安全運転講習		* 教習所開催日に準ずる											
日本語学習会	12												
ケアマネ 受験対策講座	5												
★ 実践事例発表会								ベスチャレ 2024		堺市実践研究 発表会		大阪老人施設部会 実践研究発表会	
ユマニチュード 学習会	3												

学習計画 ③ 役職別学習会（正規職員対象）

	対象者	目的	内容	実施者
天地塾	次期主任候補	次期主任クラスを養成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーシップ論 ・ チームマネジメント ・ スピーチトレーニング 	天地塾運営推進委員
NVC (ノン・バイオレント・コミュニケーション) スキル	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーダー以上の役職者 ・ エントリー制(つどうホール) 	対立や緊張・依存の関係から自由で思いやりに溢れ、お互いを豊かにし合う関係へと人間関係を変える考え方や、話し方の「方法」を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・ NVCの理解 ・ 現場実践と振り返り 	渥美先生（外部講師）

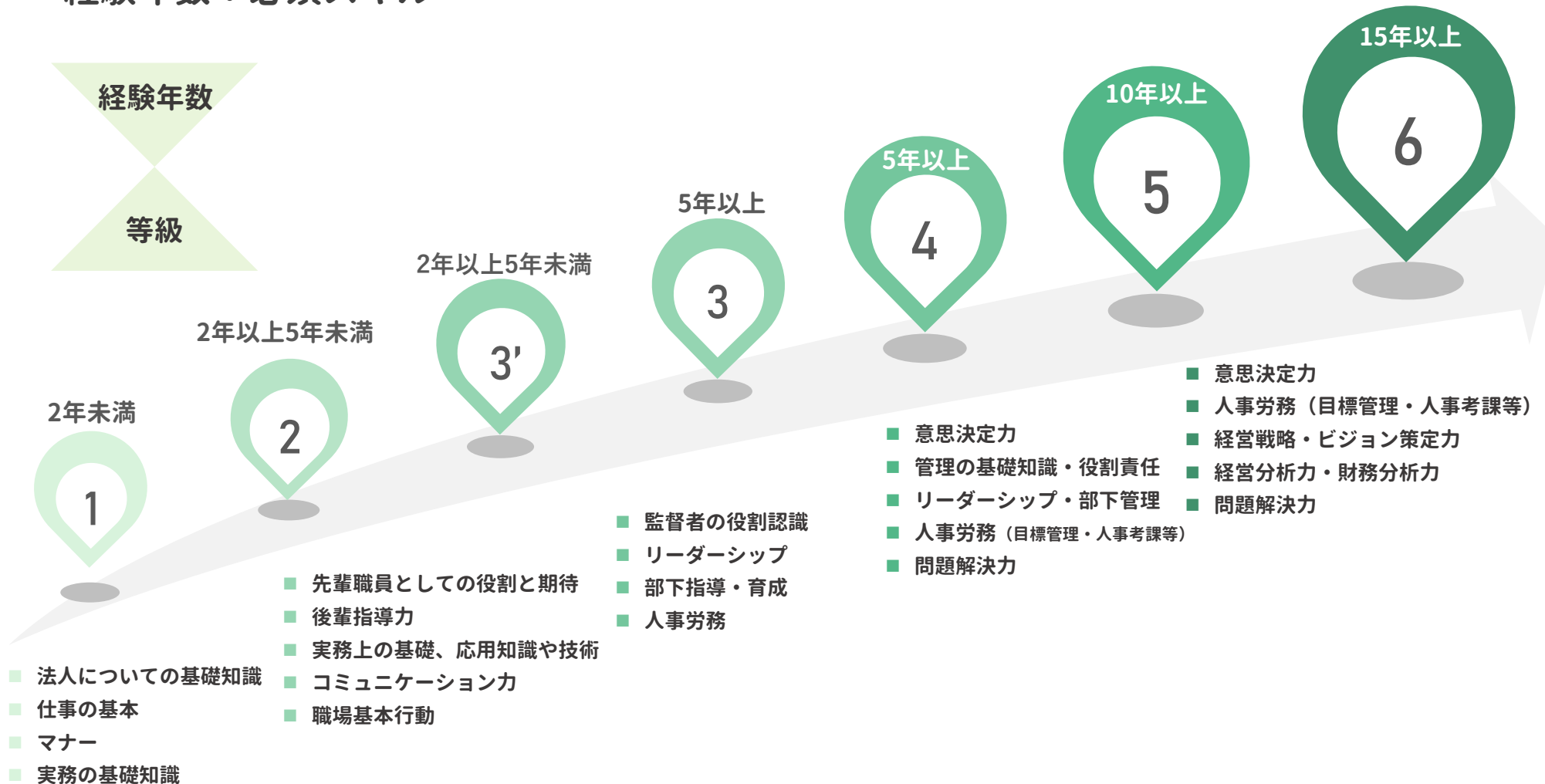
年間予定	開催回数／年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
天地塾	6												
NVC	通年												

CAREER PATH

— キャリアパス —

キャリアパス

経験年数：必須スキル



キャリアパス

経験年数：等級別必須スキル

1 初級・一般職

実務者研修

初任者研修

保育士

- 社会人、組織人としての基礎を学ぶ
- マニュアルに基づく業務遂行を行なうこと
- 担当部署内の利用者、家族の満足度を高めること

2 熟練・サブリーダー

社会福祉士

介護福祉士

保育士

- 専門性を高め、利用者に最善のサービスを提供するマニュアルに基づく業務遂行を行なうこと
- 担当職務の業務改善を提案・実行すること
- グループリーダー・園長を補佐すること

3' プロフェッショナル

社会福祉士

介護福祉士

保育士

- 優秀なプレーヤーになる
- 卓越した知識・技能を高める
- 業務上の問題点に速やかに対応すること
- 新人や実習生の指導を行うこと

3 グループリーダー

社会福祉士

介護福祉士

保育士

介護支援専門員

- フロア（園）の目標を達成する
- プレイングマネージャーになる
- 部下と協働して成果を出す
- 担当職務の計画立案、実施指導ができること

キャリアパス

等級別研修内容

1 初級・一般職

- 報告連絡相談
- 経験、動機づける、伝える
- 自省力
- 各習慣（介護記録、メモ）
- ユマニチュード

2 熟練・サブリーダー

- 報告連絡相談
- 経験、動機づける、伝える
- 課題分析
- 洞察力
- ユマニチュード

3' プロフェッショナル

- 報告連絡相談
- 経験、動機づける、伝える
- 課題分析力
- 洞察力
- ユマニチュード

3 グループリーダー

- 報告連絡相談
- 経験、動機づける、伝える
- 課題解決思考力
- 後輩指導
- ユマニチュード

OJT

OFF
JT

- 新人研修
- サービスマナー研修
- 保育士初任者研修会

- 認知症実践者研修
- スキルアップ学習会
- 保育士キャリアアップ研修会
（中堅職員）

- 認知症実践者研修
- ステップアップ学習会
- 保育士キャリアアップ研修会
（中堅職員）

- 天地塾
- ユニットリーダー研修
- 認知症実践者研修
- 海外福祉施設視察
- 全国保育士キャリアアップ研修

自己啓発

- 奨学金制度
- 外部研修参加支援制度
- 書籍購入支援制度
- 表彰制度

- 奨学金制度
- 外部研修参加支援制度
- 書籍購入支援制度
- 表彰制度

- 奨学金制度
- 外部研修参加支援制度
- 書籍購入支援制度
- 表彰制度

- 奨学金制度
- 外部研修参加支援制度
- 書籍購入支援制度
- 表彰制度

キャリアパス

経験年数：等級別必須スキル（管理職）

4 管理中級／室長・主任

社会福祉士

介護福祉士

介護支援専門員

- 部署（課）の目標を達成する
- やり方を変える・成果を出す
- 部下に任せ成果を出す
- 事業計画を策定・実行する
- 中心となって問題解決に導く
- サービスレベルを向上させる
- 部下育成・士気を高める
- 他部署との調整や連携を取る

5 管理上級／次長

社会福祉士

介護福祉士

介護支援専門員

- 施設の目標を達成する
- マネージャーになる
- 部下を育て、モチベーションを高める
- 施設の業績達成に取り組む
- 施設長を補佐すること

6 経営幹部／施設長

社会福祉士

介護福祉士

介護支援専門員

- 施設の事業計画を立案、統括責任を負う
- 中・長期経営計画の立案、統轄を行う
- 法人の予算管理、利益目標を達成する
- 法人の認知度を高める
- 後継者・次世代のリーダー育成に取り組む
- 行政、関係機関、地域との良好な関係の構築・発展をさせる
- 部下へ施策を示す

キャリアパス

等級別研修内容

4 管理中級／室長・主任

- 報告連絡相談
- 経験
- 苦情処理
- 会議運営
- ユマニチュード

5 管理上級／次長

- 報告連絡相談
- 経験
- 職員指導
- ユマニチュード

6 経営幹部／施設長

- 報告連絡相談
- 経験
- 職員指導
- ユマニチュード

OJT

OFF
JT

自己
啓発

- 天地塾
- 主任介護支援専門員研修
- 認知症実践リーダー研修
- 海外福祉施設視察

- 天地塾

- マネジメント研修
- トップセミナー
- 施設長研修会

- 奨学金制度
- 外部研修参加支援制度
- 書籍購入支援制度
- 表彰制度

- 奨学金制度
- 外部研修参加支援制度
- 書籍購入支援制度
- 表彰制度

- 奨学金制度
- 外部研修参加支援制度
- 書籍購入支援制度
- 表彰制度

キャリアパス

NEW

認知症ケアスキルマイスター制度

1 ビギナー

2 初級

3 中級

4 エキスパート

5 マイスター

資
格
要
件
験

■ 筆記試験

■ 筆記試験

■ 筆記試験

■ 筆記試験
■ 実技試験（現場）

■ 筆記試験
■ 実技試験
（現場・模擬講義）

研
修
要
件

■ 認知症実践者研修

■ 認知症実践者研修
■ ユマニチュード実践者研修
or 基礎研修ⅠⅡⅢⅣ

■ 認知症リーダー研修
■ ユマニチュード実践者研修

■ 認知症リーダー研修
■ ユマニチュードリーダー研修

■ 認知症指導者講習
■ ユマニチュードリーダー研修

■ 認知症や認知機能の基
本を理解している
■ 認知症の人への適切な
対応ができる

■ 認知症や認知機能の基本を
理解している
■ 認知症に人への適切な対応
ができる
■ ユマニチュードの基本を理
解し実践できる

■ 認知症や認知機能の基本、
原因疾患別の特徴を理解し
ている
■ 認知症の人への適切な対応
ができる
■ ユマニチュードの基本を理
解し実践できる

■ 認知症や認知機能の基本、
原因疾患別の特徴を理解し
ている
■ 対応困難な認知症の人への
対応ができる
■ 対応困難な認知症の人への
ケアプランを立案できる。
■ ユマニチュード技法を指導
できる

■ 認知症全般に関する知識や
ユマニチュードの技術指導
に係る研修を行える
■ 対応困難な認知症の人への
ケアプランの立案を指導で
きる

求
め
ら
れ
る
技
能

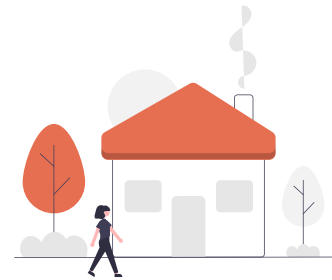


— 新たな取り組み —

NEW CHALLENGES

暮らしやすい街づくり

NEW CHALLENGES



居住支援法人活動

居住支援法人とは

- 居住支援法人とは、住宅セーフティネット法に基づき、居住支援を行う法人として、都道府県が指定するもの
- 都道府県は、住宅確保要配慮者の居住支援に係る新たな担い手として指定することが可能

※住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給促進に関する法律第40条に規定する法人

厚生労働省HP：居住支援法人制度の概要参考



居住支援法人に指定される法人

- 社会福祉法人
- NPO法人、一般社団法人、一般財団法人
(公益社団法人・財団法人を含む)
- 居住支援を目的とする会社等

居住支援法人の行う業務

1. 登録住宅の入居者への家賃債務保証
2. 住宅相談など賃貸住宅への円滑な入居に係る情報提供・相談
3. 見守りなど要配慮者への生活支援
4. ①～③に附帯する業務

※必ずしも1～4の全ての業務を行わなければならないものではない

居住支援のチラシ

**住まい探しの
お手伝いをします**

「身寄りがいない」「保証人がいない」など
住まいにお困りではありませんか？
社会福祉士、介護支援専門員などの専門職員が
住まい探しのお手伝いをします

私達のできること

- ✓ 不動産店への同行
- ✓ 生活保護の同行
- ✓ 生活相談
- ✓ 定期的な見守り
- ✓ 必要なサービスの提供

対象の方の例

- ・ 高齢者
- ・ 障がいをお持ちの方
- ・ 生活保護受給の方
- ・ 外国人
- ・ シングルマザーの方

概要・連絡先

社会福祉法人みささぎ会 住所：藤井寺市藤井寺4-11-7
ソーシャルリレーション推進室 TEL：072-952-0008
担当：花光・測本 受付：平日 9時-17時

制度スキーム





小学校向け福祉授業 実施強化

新型コロナウイルスの影響により実施控えのあった小学校向け福祉授業について、小学校の先生方と連携し実施回数を増やしていきます。

ブラインドウォーク体験



福祉授業を実施する背景

- 以前以上に核家族化が進み、地域内でのコミュニケーションが減少している日本において、高齢者への理解や繋がりが減少している。
- その様な中でみささぎ会では、福祉授業として「高齢者疑似体験授業」や「視覚障がい者とは」といった、体験形式で理解をし、知識として蓄積させることを働きかける仕組みづくりをしている。

高齢者疑似体験





産後ヘルパー事業への参画

産後のママをサポートする人

産後ヘルパーとは、サポートが必要な産後のママと赤ちゃんの自宅を訪問し、家事や育児を支援してくれる頼もしい存在。赤ちゃんを迎えてからの生活に不安を感じている人を対象に、自治体や民間企業がサービスを提供する。

産後ヘルパーにやってもらえること

■ 家事・育児に幅広く対応

- 産後ヘルパーの基本的なサービス内容は、日常的な家事と育児の支援が中心。日常的な家事には食事の支度や片付け、衣類の洗濯、部屋の掃除・整理整頓、生活必需品の買い物などが含まれる。
- 育児では沐浴補助やおむつ交換補助などの支援が受けられる。育児の助言・相談を行い、ママの心身のケアに力を入れているのが家事代行と異なる点である。

※できない項目例

託児所とは異なり、入院や外出などで保護者がいない状況のときはこどもをお世話することができない。



産後ヘルパーの利用方法

■ 自治体のサービスを利用する

- 多くの自治体では、厚生労働省が推進する産前・産後サポート事業の一環として産後ヘルパーの派遣を行っている。
- サービスを利用するには事前の申請が必要。利用回数や利用できる期間などに一定の条件が設けられているため、住民票がある自治体で条件をあらかじめ確認しておく目安である。

■ みささぎ会の役割

- 藤井寺市との連携を強化し、こども食堂も活用しながら少子化の中で子育てしやすい街づくりに貢献する。

eNPSの導入

3点以下は離職率が高い

eNPS算出方法 = 「推奨者」の割合 - 「批判者」の割合

日本企業平均 -61.1 医療・福祉業界平均 -65

eNPS：【Employee Net Promoter Score】

『顧客ロイヤルティ（企業やブランドに対する愛着・信頼の度合い）』を測る新しい指標のこと。

0（全く思わない） - 10（非常にそう思う）
11段階による回答

- 0点～6点をつけた人：「批判者」
- 7点～8点をつけた人：「中立者」
- 9点～10点をつけた人：「推奨者」

質問項目



あなたの親しい知人や友人から
「あなたの職場で働きたい」と言われたとき、
推奨する度合いはどれくらいですか？

現時点

2024.02.15

-66

数値目標

-61

目指すところ



- 自社に愛着を感じ、ビジョンを理解・共感している職員が多くいること。
- 同僚と活発にコミュニケーションを取り革新的なアイデアを生み出す職員が増えていくこと。

職場環境向上

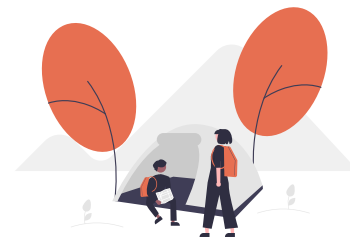
NEW CHALLENGES

定期人事面談実施（正規職員対象）

2024年4月より、施設毎の面談のみならず本部職員による定期面談を実施します。直属の上司だけでなく、異なる立場からの面談を通じて働きやすい環境を整えるための、よりきめ細やかなサポートをします。

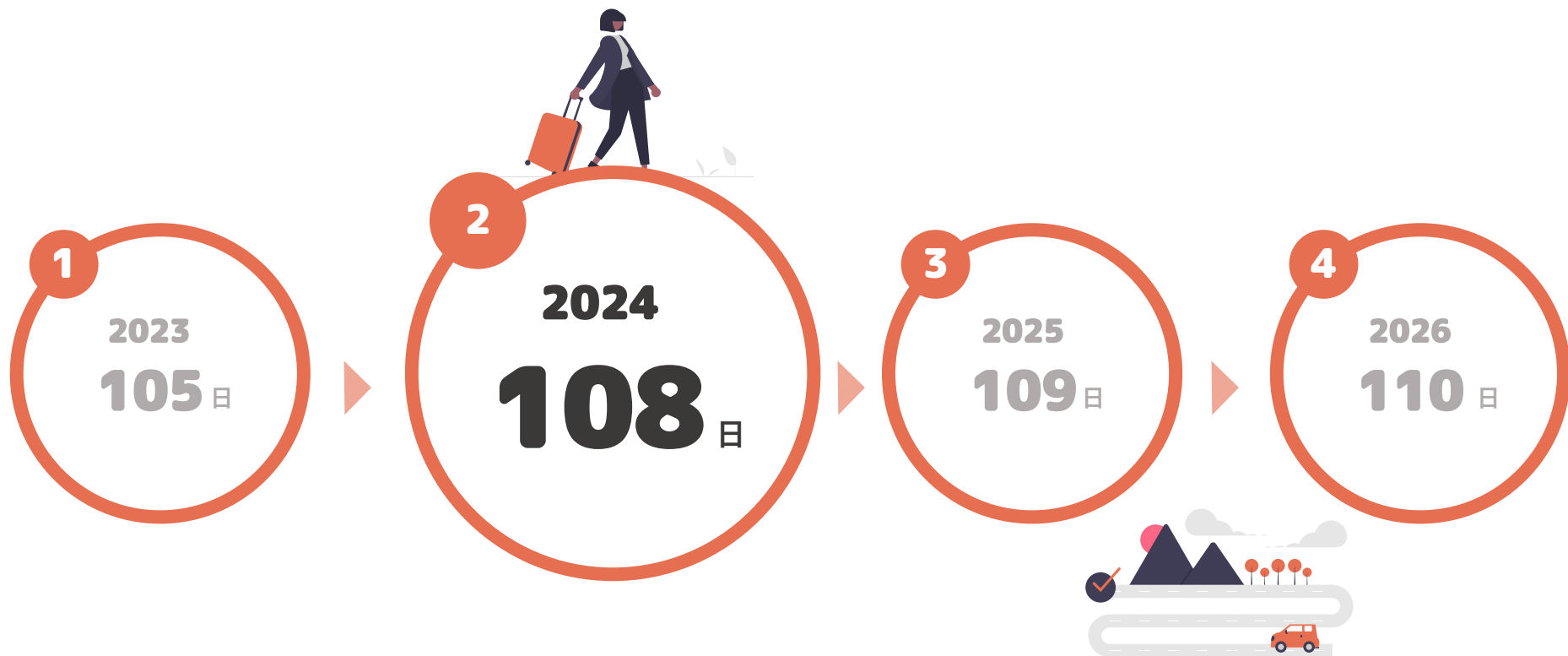
面談実施時期

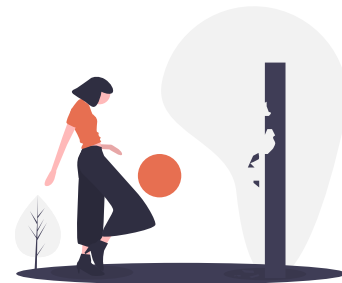




年間休日の増加

現行の年間休日105日から、3年間かけて年間休日を増やしていきます。プライベートを充実させることで、仕事へのモチベーションだけでなく知識を蓄える時間を作る環境を創出していきます。





週休3日制 トライアル実施

特養支援部・グループホームの現場介護士を対象とした
一日10時間勤務 週休3日制のトライアルを実施します。



POINT

- ✓ 一週間の合計勤務時間は変えず休日を増やす
- ✓ 夜勤業務の負担軽減につながる
- ✓ 介護人材確保対策の一つになる

現在のシフト（週休2日制）
8時間労働×5日＝40時間
残りの2日を休日にする



トライアルシフト（週休3日制）
10時間労働×4日＝40時間
残りの3日を休日にする

/ メリット /

- 年間休日が50日近く増加
- 求人募集のアピールに繋がる
- 休日増加による仕事のモチベーションアップ
- 人員配置の充実による手厚いサービスの提供

/ デメリット /

- 1日の労働時間が長くなる
- 業務スケジュールを見直す負担がある
- 夜勤明けが休み扱いになる

キヌアミ・ミスト浴の導入

スイッチひとつでお湯と泡を簡単に切り替えられるシャワーキヌアミやミスト浴を導入することで、介護士の身体的負担の軽減だけでなく利用者自身の肌を労わることができる環境作りをします。

キヌアミ



- 切替スイッチひとつでお湯と泡を簡単に切り替えられるシャワー『KINUAMI』
- 介助する側・される側双方の負担をグッと減らす泡シャワーで、入浴の時間を今よりさらに幸せな時間に変えていく仕組みづくりを可能とする。

ミスト浴



- 入浴者の快適さを追求 熱を逃さないサウナのような空間に身体を包みこむ上質なミストシャワー。
- 入浴介助の時間短縮で介助者の介助環境を大幅に改善。
- 経営面の課題も解決 コスト削減と人手不足解消を実現。
- 密閉・密集・密接を防ぎ、感染対策に貢献。

